

第12期生（青梅市立霞台中学校出身）

北見工業大学工学部地域未来デザイン工学科 進学

青梅総合高校は、とても自由度の高い学校です。2年から多くの科目を選択でき、3年では選択の仕方によっては定期テストをととても少なくすることも可能です。ですが、私が3年間で学んだことは、「楽は決して充実感とは結び付かない」ということです。私は3年で「数学Ⅲ」を選択しました。授業はとても難しく、日々の復習が欠かせませんでした。しかし、それを乗り越えた先に充実感がありました。これは勉強に限った話ではありません。高校の3年間には様々な行事があります。本気で頑張っってこそその充実だと思ひます。

ぜひ、自分の手で未来を切り拓いてください。

第12期生（八王子市立第一中学校出身）

中央大学文学部英語文学文化専攻 進学

青梅総合高校は海外と関わりをもつことができる機会が多くあり、また興味をもつ生徒も多いため、私も充実した3年間を過ごすことができました。海外修学旅行で外国との文化の違いに触れたことを契機に留学を考え、大学を目指すようになりました。同じ志を持ちながらも将来の夢を明確に定め、それを実現させる手段として勉学に励む友人に日々刺激されつつ、共に切磋琢磨した日々があるからこそ、大学に合格することができました。

第二外国語の授業やドイツの姉妹校交流など、勉強をしたい人にとって素晴らしい環境が整っている学校だと思ひます。

第12期生（青梅市立泉中学校出身）

東京農薬大学生命科学部分子微生物学科 進学

青梅総合高校は、総合学科のため各々の進路に合わせた科目選びが可能で、そのため、生徒一人ひとりの多様性や独自性が養われます。また、必修科目の農業系科目「自然と農業」や「自然と環境」で初めて体験することも多いと思ひます。私も1年のとき、農業の授業で触れたバイオテクノロジーの楽しさを身をもって知り、東京農薬大学への進学を決めました。青総は農大に進んだ先輩が多数いらっしゃるため、どのような対策をしたらよいかよくわかり、受験するにあたって心強かったです。

やりたいことを見つけ、その先へと導いてくれるところが青梅総合高校の魅力であり、強みなのだとこの年間を通じて思ひました。

第12期生（福生市立福生第三中学校出身）

東京都立府中看護専門学校 進学

青総の良いところは、多くの選択科目の中から自分の進路に沿った科目を選ぶことができることだと思ひます。私は看護師を目指していたため、「現役看護師」の方が講師として来てくださる「家庭看護入門」を2年次で選択しました。この授業は、座学だけではなく、心肺蘇生など実践的なことも身につけることができます。また、専門的なことを習っていくことで、看護に対する関心も深められ、将来どのような看護師になりたいのかを、しっかりと考えることができました。理想の看護師像を持つことは、受験の面接でも役立つと思ひます。失敗しても折れずに頑張ってください。

第12期生（青梅市立第一中学校出身）

白梅学園大学子ども学部子ども学科 進学

中学生の頃の私は、保育士になることに憧れる一方で、この職業は自分には合わないかもという不安の方が大きかったように思ひます。そこで2・3年で「子どもの発達と保育Ⅰ・Ⅱ」や「保育実習」といった保育系科目を選択し、様々なことを学びました。この2年間での学習を通じて、やはり将来は保育士として子どもに笑顔を与えたいという思いを強くし、安心して保育系の学校に進むことができました。

中学生の皆さんの中には、将来の夢が全く決まっていな人もあると思ひます。だからこそ、青総のさまざまな授業の中から興味のあるものを高校生のうちに学び、糧にしてほしいです!!

第12期生（瑞穂町立瑞穂中学校出身）

法政大学情報科学部コンピュータ科学科 進学

僕は理系の大学に進学したいと考えていたので、2・3年次で「数学」と「物理」を選択しました。3年次になると、時間割のほとんどが受験に関するものになるため、受験意識を高めて授業に取り組むことができました。また、選択科目の時間をいくつか「空き」にすることで、受験勉強の時間を確保していました。学校の自習室や図書室はいつも静かで、集中するには最適な環境でした。

青総は、大学や専門学校の模擬授業を受けられるなど、多岐の分野に触れる機会が多いです。皆さんも青梅総合高校で自分のやりたいことを見つけて、自分だけの時間割をつくってみてください。

第12期生（あきる野市立西中学校出身）

弘前大学理工学地球環境防災学科 進学

私は1年次のときにドイツへの短期交換留学に参加しました。初めての海外に不安はありましたが、どうにかなるだろうとも思って出発しました。ポツパルトではホストファミリーたちが歓迎してくれました。彼らは社交的で異文化交流にとても興味があり、積極的に話しかけてきます。英語があまりわからなかったので、何にでも yes と答えていました。おかげでさまざまな体験をさせてもらえました。身振り手振りでも何か会話になり、徐々に何を言っているのかがわかるようになりました。

語学力は大切だと思いますが、それ以上に大事なものは積極的に何かをしようとする気持ちだと思います。皆さんもぜひ国際交流を体験してください。

第12期生（青梅市立吹上中学校出身）

国家公務員 内閣府 就職

青梅総合高校は、自分が希望する進路を実現するには最適な高校だと思います。多種多様な選択科目の中から、進路実現に必要な科目を自分で選ぶことができるからです。私も、国家公務員合格に向けて、「政治経済」や「日本史B」などは教養試験のために選択したり、「国語表現」や「コンピュータ活用」を小論文対策や資格取得のために選択し、進路に活かすことができました。そのほかにも、進路指導の先生には、面接練習や自己PRカードの添削などを何回もしていただき、公務員になることができました。

あなたの希望する進路もきっと実現できると思います。

第12期生（青梅市立第一中学校出身）

大妻女子大学家政学部児童教育専攻 進学

私は、子どもと関わる職業に就きたいと考えていました。そのため、2年次では「子どもの発達と保育Ⅰ」を選択し、座学を中心に子どもの身体形成などの知識を学びました。3年次の「子どもの発達と保育Ⅱ」と「保育実習研究」では、リトミックや多くの保育施設で実践的な経験をすることができます。中でも、伺った施設の1つ、「子育て支援センター」の実習で0歳児から小学6年生までの幅広い年齢の子どもたちと関わることができました。

実際の現場に触れてみたことが、私が小学校教諭になるという明確な将来像を目指すきっかけになりました。

第12期生（青梅市立第三中学校出身）

東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 進学

私の卒業研究は、授業で感じた「肥料は本当に意味があるのか？」という他校では出ないような疑問からきています。実験は、別々の肥料を施した複数の畑で大根を育て収穫した野菜の違いを調べるという青総ならではの方法で行いました。この卒業研究を通して、将来役に立つであろう「自分で物事を考え、実行する能力や論理的思考力」を身に付けられました。また、ここで学んだ肥料の知識は、将来農業系の進路に進もうとする私に、今後絶対生きてくでしょう。

このような普通科では余りつけられないだろう将来に役立つ力を、青総でのいろいろな経験を通して身につけることができます。

第12期生（八王子市立第一中学校出身）

実践女子大学生生活科学科管理栄養士専攻 進学

食べるのが好きで食に関連した仕事がしたいと考えていましたが、具体的な職は決まっていませんでした。「食品製造」や「フードデザイン」などを選択することで、さまざまな角度から食について学ぶことができました。このことがきっかけとなり、栄養に興味を持ち、管理栄養士を目指すようになりました。また、青総はそういった夢のための勉強と部活動の両立がしやすい学校です。私は自習室や図書室を利用し、隙間時間に勉強をしていました。このような設備が整っていたため、女子バレーボール部で関東大会を目指しながら、勉強にも励むことができました。

青総の設備や特長を活用すれば、とても充実した高校生活が送れますよ！

第12期生（あきる野市立東中学校出身）

成蹊大学法学部法律学科 進学

1・2年次の間は理学療法士になるための専門学校に進学しようと考えていました。そのため、選択科目は進学した場で活かせる「基礎介護入門」や「看護数学」、「介護福祉援助技術」などを中心に選んでいました。しかし、専門的に学ぶうちその進路に迷いを感じて3年の夏に進路を変えました。選択科目で早いうちから専門知識を学べたので、専門学校に進学してから自分に合わなかったと辞めずに済んだと思っています。

私は、1年次から成績を意識してバスケット部との両立を心がけていました。そのおかげで急な進路変更もできました。1年次から勉強を頑張っておきましょう。